




シラバス参照

タイトル「**2015年度 観光学部シラバス**」、フォルダ「**2015年度 観光学部シラバス**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	経営学総論		
担当教員	竹林 明		
対象学年	1年	クラス	T1
講義室	E-105	開講学期	後期
曜日・時限	水3	単位区分	選必
授業形態	講義	単位数	2
準備事項			
備考			
科目名 (英語表記)			
授業の概要・ねらい	経営学を細部にわたって考察していくと非常に多くの領域が含まれています。本講義では、経営学とは何か、経済学、商学との違いは何かをふくめて、経営学の各領域の内容と関連について解説していきます。可能な限り、経済学部で開講されている「経営学」と併せて履修するようにして下さい。また、ゲストスピーカーの招請も予定しています。		
授業計画	回	内容	
	1	はじめに-現象としての経営、科学としての経営学。経済学、経営学、商学の違い。	
	2	企業論-企業とは何か。企業の機能について	
	3	企業形態論-企業にはどのような種類があり、どのような特色を有しているか。	
	4	企業統治論-企業は誰のものか。誰が責任をもって動かしているのか。	
	5	経営戦略論1-ポーターの競争戦略論、バーニーの資源ベース戦略論について	
	6	経営戦略論2-アンゾフの企業戦略論と多角化戦略について	
	7	マーケティング戦略-SWOT分析、STP戦略、MM戦略について	
	8	経営組織論(マクロ)-有効かつ能率的な組織はどのような構造を有しているか。	
	9	生産管理論-大量生産システムの根源は、テイラー・フォードシステムについて。	
	10	人的資源管理論①-米国の人的資源管理研究の歴史から学ぶ、科学的管理法について	
	11	人的資源管理論②-行動科学に基づく人的資源管理。モチベーション論。	
	12	人的資源管理論③-職務設計について 経営組織論(ミクロ)-分業と調整のメカニズム	
	13	国際経営論-企業の国際化で生じる課題は何かについて。	
	14	財務論、会計学-企業におけるカネの管理について。	
	15	おわりに-科学的視点から日々の企業活動をみる。その本質を見極める力。 到達度試験	
到達目標	経営学検定試験中級レベルの理解ができること。		
成績評価の方法	最終講義内で行う試験で評価します。		
教科書	上林憲雄ほか『経験から学ぶ経営学入門』有斐閣、2007年。		
参考書・参考文献	講義内で適宜紹介します。		
履修上の注意・メッセージ	資料等は配布しません。講義を注意深く聴き、メモをとりまとめる能力を同時に養って下さい。小試験(数回)は講義内		

	で実施します。日頃より継続的に学修しておくことが強く求められます。
履修する上で必要な事項	
受講を推奨する関連科目	
授業時間外学習についての指示	事前にテキストの指定部分を精読しておくこと。また、講義後はテキストの演習課題に取り組むこと。
その他連絡事項	



Copyright (c) 2008 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.